

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 野村紀代彦
幹事 山下雅則
会報委員長 藤井邦彦

2021 ~ 2022年度 国際ロータリー シェカール・メータ 会長テーマ

Serve to Change Lives 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3154回例会プログラム

[当年度=31回目；当月=2週目]

2022年（令和4年）5月9日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:00 〈食 事〉
12:28 1. チャイム
12:30 2. 点 鐘 ……〈会 長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……我等の生業
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 会長挨拶並びに会長報告
8. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
9. 幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(5/16) ……
クラブフォーラム (青少年奉仕委員会)
講師 ガバナーエレクト
箆橋 美久 様 (名古屋中 RC)
(紹介者 兵藤 文男 会員)
(5/23) ……
卓話 「QR コードの開発と普及」
株式会社デンソーウェーブ
エッジプロダクト事業部技術2部
主席技師 原 昌宏 様
(紹介者 石川 泰隆 会員)
13:00 14. 本日のプログラム
新会員アワー 川口 健二 会員
" 丹羽 基実 会員
15. 謝 辞
16. 点 鐘……〈会 長〉
17. 閉会宣言
13:30 18. 散 会

出席

会員総数 95名 出席免除 25名
出席義務者+免除者の内例会出席者 83名
欠 席 8名 出席率 90.36%
前々回(4/18)の修正出席率 100%

幹事報告

- 5月1日より、ロータリーレートは、130円になりました。
- 刈谷市役所より届きました刈谷市歴史博物館の企画展のご案内を机の上に置かせて頂きました。

委員会報告

●ロータリー財団委員会

- 4/18の刈谷ハイウェイオアシスの職場例会で行いましたポリオ根絶募金で、75,397円の大変たくさんの募金を頂き、ありがとうございました。多数の会員の皆様に募金頂き、本当にありがとうございます。また、雨の中募金活動をお手伝いして頂いた親睦活動委員会の皆様、ありがとうございました。以上、ご報告申し上げます。

●社会奉仕委員会

- 刈谷市緑化推進協議会より、春の緑化協調期間に伴い、「緑の募金」の依頼がきています。本日、ボックスを回しますので、ご賛同頂けるようでしたら、ご協力をお願い致します。

●雑誌委員会

- 今月のロータリーの友の読みどころを紹介させて頂きます。
今月の表紙のタイトルは『うそから出たまこと』です。偽の情報が多い中、四つのテストの1番目に記載されているように『真実かどうか』何が事実なのか見極める事の必要性を感じると共に、例えば真実になったからとは言え欺くことは良く無いので誠実に行きたいと思いました。

さて、今月は『青少年奉仕月間』です。最近、若年化され若者の間で乱用されている薬物についての

記載です。現在、私自身も多くの薬に助けられて日々生活していますが、いくら合法的な薬物でも悪意を持って使用すれば危険な物になってしまいます。薬物の怖さを再認識させられる記事でした。

今回非常に気になった記事はウクライナの記事です。ロシアの侵略で灰色の景色しか報道されていないのでどんな国なのかも知りませんでした。とても綺麗な街並みの写真を見て悲しみと怒りを感じさせられました。1日も早く平和な日常が回復することを願います。

また、献血も大切な社会貢献の一つです。いつも献血の呼びかけの前を通ると献血したいと思いますが、薬漬けの身なので献血出来ずに後ろめたい気持ちになっております。現在、輸血用血液が不足しているようなので献血の基準に適合している方は献血は是非ご協力をお願いします。

そして、縦組みの記事では、子供のメディア漬けの記事です。昨今のネットやゲームは忙しい親にとって使い勝手のいい子守り道具ですが、こちらにも常習性があり我が家でも問題視している内容です。デジタル機器を使いこなすことが当然になっていく世の中で、いかに子供たちの成長を守れるかが親の使命と思います。子供との対話を大切にしていきたいと再確認することのできた記事でした。

以上、今月のロータリーの友の紹介をさせて頂きました。

会長あいさつ

野村紀代彦



今年のゴールデンウィークは天候に恵まれレジャー、お出かけには絶好だったと思います。各地の人出は通常の2倍から3倍、高速道路の渋滞もあったようで少しお疲れの会員もいらっしゃるのではないかと思います。

さて皆様はどこから日々情報を仕入れてみえますか？新聞、テレビ、ネット、本などだと思えますが若い子と話していると私自身が今、関心を持っていることを全く知らなかったり、また私の知らないことを詳しく知っていたりで情報の入り口、拡がりはかなり偏りがあると感じます。現在、多くのロシアの人々は政府のプロパガンダ的な情報しか手に入らないようですし中国の情報統制も時々ニュースになります。好きな情報を簡単に手に入れられる我々からしたら不思議ですが我が国も過去には似たような事があったといわれています。

積極的に海外へ出て勉強して新しい知識、情報、文化に触れることは素晴らしい体験ですし個人のためにも、大きな意味では国のためにも大切だと思います。

1995年当時、日本からアメリカへの留学生は5万人を超えており中国からは4万人以下でした。近年、アメリカと中国との関係悪化といわれている中ですが、新しい

統計では日本からアメリカへの留学生は2万人以下となり中国からは37万人以上といわれています。もちろん日本からアメリカ以外の国へ留学する場合がありますが、それぞれの国の将来を担う若者、留学生が成長し大人になった時、お互いの相互理解、人脈形成が進んで今の国際関係にいろいろな変化を起こす可能性があるともいわれています。ロータリークラブも青少年交換プログラム、グローバル奨学生など日本の若者を対象にした留学プログラムを行っています。一人でも多くの若者がグローバル、ダイバーシティ、インクルージョンという感覚を身に付けていってほしいと思います。

お祝い

5月の会員の誕生日…太田宗一郎、近藤純子、二村寿泰、菊地康英、横山宜幸、久米博明、鬼頭一浩、盛田高史会員。

配偶者の誕生日…前田吉昭（春実）、南真奈美（康）、伊藤佳代子（節夫）、丹羽優加理（基実）、磯村由美（巖）様。

5月度結婚記念日…神谷光義、杉山欣輝、神谷龍司、鈴木豊、鈴木一正、吉原孝彦、田中正之、菊地康英、江口淳一、新海伸二、豊田貴久、丹羽克誌会員。

5月度入会記念日…神谷強、加藤英樹、丹羽克誌、鬼頭一浩、新海伸二、石川友美、近藤純子、二村寿泰、江口淳一、久松玲子会員。

新会員アワー

川口 健二



2021年8月より伝統と格式ある刈谷ロータリークラブに入会させて頂きました、中部電力パワーグリッド（株）の川口健二です。

昭和43年生まれで出身は愛知県田原市です。私の実家の近くには、JERA 渥美火力発電所や潮干狩りができる海があり、そこで育ちました。

昭和61年に中部電力に入社し、思い出に残る活動として、労働組合青年部が主催する約200人規模のキャンプに惹かれ、参加者、リーダー教育、最終的には実行委員として関わったことで多くの人脈ができたと感じております。

仕事に関しては、配電部門に配属となり、主に電柱、電線の建設・維持管理、電柱からメーターまでのネットワーク管理に従事し、特に、豪雨や台風の自然災害において停電した場合には、一分一秒でも早く電気をお届けする使命感を持って対応してきました。

大きな環境変化は、2011年の東日本大震災で、当時、私は、愛知県三河地方を統括する部署に所属していました。本社からの応援派遣要請を受け、甚大な被害を受けた電力設備を復旧すべく、現地情報が全くない中、とにかく出来ることを一つでも行い電気を点けるという決意のもと、まだ雪が降る東北地方に多くの作業者を応援派

遣しました。

作業者からは、余震が怖い、TV など情報がない、寝る場所がないなど、色々な意見がありました。衣食住に関しては一切文句を言うなと統制をとり、毎日衛星電話で現地と連絡を取りながら、何とか長期の応援派遣を無事に完遂できました。

これ以降、自然災害発生時には、北海道、千葉県、熊本県、鹿児島県など、最近は何処かへ応援派遣をしている実態の中、「あらゆる災害を想定して最大限の準備をしておく」ことが重要で、早期復旧訓練を通じて「お客さまへの情報発信」「設備復旧の体制」「行政機関との連携」を検証しております。

最後に、ロータリー活動を楽しく実施していく所存ですので、今後ともご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。



新会員アワー

丹羽 基実



デンソーの丹羽です。本日は新会員アワーの機会を頂き、ありがとうございます。本日の発表は、1 経歴、2 第二のふるさと、3 刈谷の皆様とデンソーのつながりの順序でおこないます。まずは経歴ですが、誕生・

学歴・デンソーでの職歴を説明しましたが、会社人生のうち約25%を占めるアメリカ・テネシー州での時間は、私や家族にとって非常に大切な思い出の土地であり、第二のふるさととして紹介をしたいと思います。テネシー州は緯度がほぼ愛知県と同じで、平坦でなく山や川があり、四季も日本と似ており大変過ごしやすい地域です。またテネシーの人たちは、サザンホスピタリティと言われるほど、もてなしの心が溢れる、大変優しくフレンドリーで、ニューヨークなど都会人に比べると、親しみやすい人たちです。続いてテネシーのプチ情報をいくつか紹介します。一つめはテネシーが音楽の聖地であるということです。州都のナッシュビルにはカントリーミュージックの殿堂があり、夜になると通りの両側には多くの店がライブを開催しています。西部メンフィスはBBキングで有名なブルースの聖地になっています。二つめはテネシーウィスキーです。ジャックダニエルが有名ですが、バーボンとほぼ同じ製法ながら

ケンタッキーバーボンとの違いに、テネシーの人たちは南北戦争のわだかまりなのか、テネシー産であることに非常に拘りがあります。三つめはおらが町の代表と熱狂するテネシー大学アメリカンフットボールです。日本人には想像できない大学スポーツに対する地元愛、そして信じられない規模のスタジアムや放映権料、ヘッドコーチの契約金は、ただただ驚くばかりです。四つめは全米一来園者数の多いグレートスモーキーマウンテン国立公園です。アメリカ人の20人に1人が毎年訪れる、トレイルを歩きながら多くの動植物に触れることのできる、自然あふれる魅力的な場所です。そして最後に紹介するのは、出向していた会社での、学生への教育支援をはじめとした地域とのつながりの大切さです。弊社本社でも刈谷の皆様と共に、青少年育成や交通安全といった活動をさせて頂いています。刈谷 RC でも奉仕の精神を更に学ばせて頂き、自らできることは何かをより考えより行動できるようにしたいと思います。

